

## 令和3年度 学校教育自己診断票 結果について

### 【はじめに】

令和3年12月に「幼児児童生徒」「保護者」「教職員」に対して実施した学校教育自己診断の結果について報告します。回答にご協力いただきありがとうございました。

回収率は、幼児児童生徒用 72.4%(対象58人・回収42通)、保護者用 63.8%(対象58人・回数37通)、教職員用 95.8%(対象90人・回収 86 通)で、保護者の提出率が低下しましたが、幼児児童生徒及び教職員は微増でした。

なお、本書において、「幼〇〇(数字)」は幼児指導生徒用の第〇〇問を意味し、「保〇〇」は保護者用、「教〇〇」は教員用を意味します。

### 【特に高い項目】(3.4pt 以上)

昨年から幼児児童生徒のこの項目数が 2 から 12 へ大幅に上昇しました。また、保護者も 17 から 20 に増加しました。教職員は昨年同様 3 項目でした。

幼1 「学校は楽しい。」 (3.5pt)

幼2 「先生は、わたしたちのことを大切にしてくれている。」 (3.7pt)

幼4 「授業はわかりやすい」 (3.5pt)

幼6 「先生はよく話を聞いてくれる」 (3.7pt)

幼7 「こまったときに、気軽に相談できる先生がいる。」 (3.6pt)

幼8 「先生は、やさしいことばづかいで話をしてくれる。」 (3.6pt)

幼9 「先生は、わたしたちのことをよくわかってきている。」 (3.7pt)

幼12 「先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。」 (3.6pt)

幼13 「先生は、自分や友だちを大事にすることを教えてくれる。」 (3.5pt)

幼14 「先生は、緊急事態がおこった時、どうしたらよいかを教えてくれる。」 (3.7pt)

幼15 「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」 (3.7pt)

幼16 「文化祭、校外学習、宿泊行事、社会見学などは楽しい。」 (3.7pt)

保1 「幼児児童生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。」(3.5pt)

保2 「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。」(3.4pt)

保3 「学校は、特色のある教育活動に取り組んでいる。」(3.4pt)

保4 「学校は、幼児児童生徒の実態に応じた教育活動に取り組んでいる。」(3.4pt)

保7 「教職員は、幼児児童生徒の学習状況や努力を適切に評価している。」(3.4pt)

保8 「教職員は、個別の教育支援計画を保護者とともに作成している。」(3.5pt)

保9 「教職員は、個別の指導計画を示して説明している。」(3.6pt)

保11 「教職員は、幼児児童生徒の障がいについてよく理解している。」(3.4pt)

## 大阪府立大阪北視覚支援学校

- 保12 「教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる。」(3.5pt)
- 保13 「教職員は、すべての教育活動において、幼児児童生徒の人権を十分に尊重して指導にあたっている。」(3.5pt)
- 保14 「学校は、将来の進路についての希望を懇談等で聞き取り、適切な指導を行っている。」(3.5pt)
- 保15 「学校は、幼児児童生徒の自立に向けて、自主性や社会性をはぐくむ教育活動を行っている。」(3.5pt)
- 保16 「学校は、発達段階や実態に応じて、幼児児童生徒に対して、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。」(3.5pt)
- 保19 「学校は、いじめについて幼児児童生徒が困っていることがあれば真剣に対応している。」(3.4pt)
- 保21 「学校は、保護者の相談に対応できる体制を整えている。」(3.5pt)
- 保22 「学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。」(3.4pt)
- 保23 「学校は、幼児児童生徒に関する個人情報を守っている。」(3.6pt)
- 保24 「学校は、ホームページやマチコミメールを見やすいように工夫している。」(3.4pt)
- 保25 「学校は、授業参観や学校行事に、保護者が参加しやすいように計画している。」(3.4pt)
- 保26 「安全に関する指導をしており、防犯教育・防災教育が行われている。」(3.4pt)
- 教1 「学校の教育活動や指導の内容や方法について、幼児児童生徒の実態に合うように教職員で日常的に話し合っている。」(3.4pt)
- 教5 「指導にあたっては、幼児児童生徒が興味をもって主体的に取り組めるように工夫している。」(3.4pt)
- 教26 「幼児児童生徒の個人情報が適切に管理されている。」(3.4pt)

### 【大きく向上した項目】(0.3pt以上)

幼児児童生徒で7項目増加しました。保護者、教職員はそれぞれ1項目でした。

- 幼3 「学校のホームページやマチコミメールを見聞きしている。」(1.7→2.1pt)
- 幼6 「先生は、話をよく聞いてくれる。」(3.0→3.7pt)
- 幼7 「こまったときに、気軽に相談できる先生がいる。」(3.0→3.6pt)
- 幼12 「先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。」(3.2→3.7pt)
- 幼13 「先生は、自分や友だちを大事にすることを教えてくれる。」(3.1→3.6pt)
- 幼15 「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」(3.3→3.7pt)
- 幼16 「文化祭、校外学習、宿泊行事、社会見学などは楽しい。」(3.4→3.7pt)
- 保25 「学校は、授業参観や学校行事に、保護者が参加しやすいように計画している。」(3.1→3.4pt)
- 教11 「小・中・高等学校との校種間連携・交流の機会を設け、教育活動全般に生かしている。」

(2.3→2.6pt)

### 【特に低い項目】 (2.4pt 以下)

例年 2.0 以下を特に低い項目としていますが、今年度は該当項目はありませんので 2.4pt 以下を掲載します。幼児児童生徒で2項目、保護者と職員にはありませんでした。

幼3 「学校のホームページやマチコミメールを見聞きしている。」(2.1pt)

幼17 「ほかの学校の人たちと交流している。」(2.2pt)

### 【大きく低下した項目】 (0.3pt 以上)

幼児児童生徒、保護者、教職員でそれぞれ1項目増加した。

幼17 「ほかの学校の人たちと交流している。」(2.7→2.2pt)

保5 「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。」(3.4→3.1pt)

教18 「教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。」(2.8→2.5pt)

### 【自由記述】

#### 保護者・保証人意見

- 小) 校内設備、建物も古いのでリフォーム希望(寄宿舍も含む)。教員の異動が早く感じられるので専門性のある教員の異動はせずに在籍してほしい。
- 小) 学部があがる時(小→中→高)しっかり連携してほしいと思います。クラス担任の先生が子どもの学習状況を一番理解してくれていると思うので、それを中学部(高等部)の先生と連携を取り、子どもが楽しく本人にあった教育をうけられるのかを一緒に考えて欲しいです。「一般クラス」「特例クラス」と分けなければいけないのはわかりますが、子どもにあわせて臨機応変に対応してもらえることを期待します。小学部の学習指導については何も不満はありません。
- 普) 子どもの将来像が想像しやすい様な、勉強会や交流会などを望みます。在学中に子どもが学校を卒業した5年後を具体的に想像出来れば進路を考えやすいので。
- 理) 小人数(生徒)なので、生徒の個性を尊重し、充実した学校生活を送れるように努めてほしい。生徒の個人情報在校内であっても守れない先生がいるのはどうかと思います。
- 理) 教室のカベのひび等、耐震強度が不安。よく見える人々の来訪機会が他の施設より少ないから不利と思われる。

## 大阪府立大阪北視覚支援学校

幼児児童生徒（本文のまま）

小) このまま先生はいけばいいと思いました。

小) ある先生はぼくの意見をきいてくるのに、言わせないふんいきがあって言えないときがある。

普) 学校の歴史が長いことを忘れないでほしい。

普) ぼくはもっと運動できる時間がほしい。

理) お互いに尊敬し合う気持ちを忘れずに日々、学んでいけたら学校生活は楽しくなると私は思います。

理) 2年連続希望の先生に担任していただき嬉しかったです。

理) 給食の牛乳は自己責任(成人)、未成年は保護者の同意があれば持ち帰りできるようにしてほしい。学校予算が少なすぎるので募金箱を作ってください。

理) コロナ禍の中、いろいろ配慮してくださり感謝しております。クラブ活動の参加も認めていただき、とても楽しく有意義に取り組ませてもらっています。本当にありがとうございます。残り少ない学校生活、大切にすごして行きたいと思います。

### 【校長コメント】

- ・特定の教員に対する内容はここには掲載していませんが校長として承っております。
- ・学校の建替えについては財政の面で厳しいところはありますが、粘り強く働きかけていきます。
- ・本校に異動して2～3年の教員が多く、その先生に早く専門性を身に付けてもらうことが重要です。研修体制をさらに充実させます。
- ・今年度、中高での授業応援を増やしましたが小中の間でも連携を増やしていきます。また、個別の教育支援計画を保護者とともに作成し、それをもって幼から高までの連携のツールとします。
- ・来年度は、キャリアプランマトリックスを作成し、幼稚部、小学部から高等部普通科、理療科にかけて、さらに卒業後を見通したキャリア教育を行っていきます。
- ・個人情報保護、学校の安全管理、緊急時の対応には、教職員に対して日ごろから徹底するよう努めているところですが、今後もさらに徹底していきます。
- ・各種の近畿盲学校大会が2年続けて中止になり、子どもたちにとってはつらい2年間だったと思います。令和4年度も近畿盲学校長会としては大会を計画しています。コロナの中でもなんとか開催できる方法を探りたいと思います。
- ・校長として本校の歴史の大きさを改めて実感しています。しかし、視覚障がい教育はいま時代の転換期であることも現実です。新しい大阪府における視覚障がい教育のあり方について大阪府教育庁と考えていきます。